



COMPANY'S
CHALLENGE

NO.54



アジアの“玄関口”福岡で 税務の面から企業の海外進出を支援

【プロフィール】

佐賀県出身。税理士事務所で経験を積み、2010年に税理士試験合格、翌年に独立開業。2018年に法人化した。FM局で洋楽ロック番組のDJ(2010～2015年)として活躍するなど、様々なジャンルで活躍している。

オルケスタ税理士法人 代表社員税理士 山下 久幸氏

国際税務に特化し 競合他社と差別化する

経済のグローバル化が進展し、海外への進出が顕著な九州経済。2017年までに海外進出した九州の企業は累計で1,025件に達し、そのうち約78%がアジア各国でビジネスを展開しています。また同年の九州の輸出額は6兆8,410億円に上るなど、国内経済が伸び悩む中、中小企業においても海外、特にアジアを視野に入れた事業展開が重要になっています。

そうした中で、福岡市西区姪浜駅南のオルケスタ税理士法人は、企業の海外との取引を税務の面でサポート。

代表社員税理士の山下久幸さんは「関東や関西などの大都市部では、国

際税務を専門としている税理士事務所も一般的です。一方、福岡はアジアと距離的に近く海外とのやりとりが多い反面、専門家はほばいない状態でした」と話します。

山下さんが国際税務の仕事に興味を持ったきっかけは、ある貿易会社からの相談だったそうです。消費税は日本国内の商品・サービスに課税されるもの。例えば日本から海外に輸出した場合、海外の企業から消費税を徴収することができず、余分に税金を納めたままになっているケースがあると言います。

「相談を受けた貿易会社の過去の帳簿を確認すると、消費税の計算間違いが多く、精査した結果、数百万円単位の還付を受けることができました。

こうしたミスに気づかないまま、税務処理をしている企業は少なくありません。しかし一般的な税理士事務所でも国際的な取引経験がなければ、消費税の還付を見逃してしまうケースもあります。ここに特化することが自分のキャリア、競合税理士との差別化につながると感じたのです」。

国際税務の仕事は、『海外と商品・サービスの取引を行っている企業・個人の消費税計算』にとどまらず、『海外に法人を持っている場合』や『国際間で相続を行うケース』など、多岐にわたります。今後、国際化がさらに進展する中、国際税務の専門家の需要はアップ。そうした社会背景もあり、アジアの玄関口である福岡において、オルケスタ税理士法人の活躍が期待されます。



1



2



3

1 「税理士の仕事は数字を見ること。しっかりと数字を見つめながら、改善に立ち向かえる経営者の手助けがしたい」と山下さん

2 デザイン事務所のようなスタイルのオルケスタ税理士事務所のインテリア。社名入りのTシャツなどカジュアルなスタイルで働いている

3 こだわりのスタンディングデスクは山下さんの特注品。座って作業するよりも効率が良い「足腰のトレーニングにもなりますよ」

積極的な情報発信で顧客獲得

オルケスタ税理士法人は、インターネットを中心とした情報発信で顧客を獲得しています。法人化から約1年と短い期間ながらも、ホームページ（以下HP）からの問い合わせが多いそう。

「税金の話題を検索し情報収集する経営者も少なくありません。そこでこういう困りごとがあるだろうと課題を想定し、その解決方法を解説する記事を積極的にHP上で更新しています。困りごとを調べてHPにたどり着く経営者も多いです」と山下さん。

その根底には、山下さんの「顧客の声」を大切に作る姿勢があります。

「お客さまからの問い合わせがあれば、わからなくても必死に調べて対応する。そこから経営者の税務に対するニーズが見えてくるのです」。

オルケスタ税理士法人のHPでは、一般的な事務所案内やサービス案内のほか、相談事例、最新の税務情報などを紹介。また無料のメールマガジンとして『社長が知っておきたいお金とビジネスの話』（毎週水曜）を配信しています。ビジネスネタはもちろん、旅

行など趣味の話まで、硬軟織り交ぜた話題が山下さんのユニークな人柄を伝えファンを増やしています。

「モットーは、人生は楽しく。好きなことを楽しくやることで、人間関係も円滑になり、仕事でも努力できる」。

九州・福岡と世界の橋渡しを

オルケスタ税理士法人の社名は、オーケストラ（スペイン語ではオルケスタ）に由来します。

「オーケストラのように、様々な楽器＝税理士が集まり、個性を生かして仕事をする場所がオルケスタ税理士法人です。お客さまの課題ごとに最適なチームを組んで、最善の解決策を導いていく。同じ道の専門家と一緒に仕事をして新しい発見はありません。違う視点でアイデアをもたらしてくれる人をパートナーとして選んでいます」と山下さん。

ゆえに税理士を多く雇用するのではなく、様々な道のスペシャリストとパートナー契約を結ぶスタイルをとっています。

また、現在は日本における国際税務の対応がメインですが、今後は通訳の

パートナーも得ながら、海外での税務対応もサポートできるよう体制を整備。地元企業と海外企業とのパイプ役を目指します。その背景には中小企業の経営難があると言います。

「今後、中小企業の経営はどんどん厳しいものになっていく。人材不足はもちろん、原材料費が高騰する一方、販売価格は上げられない。そうした負のスパイラルの中、海外進出は売り上げアップのひとつの選択。中小企業においても、海外展開を視野に入れる必要があります。そういった経営者の新たな挑戦をパートナーとしてサポートしたい」と意気込みます。



オルケスタ税理士法人

〒819-0006 福岡市西区姪浜駅南3-1-9-2F
TEL 092-894-1548
<https://orquestax.com/>